

暮らしの場を活かしたガイドで
ゲストに安曇野を楽しんでもらうエンターテイナー

「安曇野の案内人」 を目指して

－案内の企画から実践まで－



平成 30 年(2018)2月

NPO 法人 安曇野ふるさとづくり応援団

目 次

その1 案内人の心構え

| | |
|---------------------------------|---|
| ■ 案内人のシチュエーション | 1 |
| コラム「ふるさとウォッチング」 | 2 |
| ■ 劇場空間・安曇野 | 3 |
| ■ 案内人の仕事の目的 | 4 |
| ■ どっちがいいガイド? | 5 |
| ■ 案内するための「インプット」と「アウトプット」 | 6 |

その2 「案内する対象」のとらえ方

| | |
|------------------------------------|----|
| ■ 見える風景 | 7 |
| ■ 見えない風景の痕跡を探る | 9 |
| ■ 時間で風景をとらえる | 10 |
| ■ 風景のとらえ方 | 11 |
| ■ 同じ風景、異なる着眼点 | 13 |
| ○「北アルプスの借景」に注目 | 13 |
| ○季節を変えて | 13 |
| ○見えない風景 | 14 |
| ○ゲストの視点を意識して潜んでいるモノ・コトをあぶり出す | 14 |

その3 案内を組み立てる

| | |
|-------------------------------------|----|
| ■ 案内を組み立てる作業の流れ | 15 |
| ■ 第①ステップ 現地を見て歩き、特徴をとらえる | 17 |
| ○様々な人の目線をもちながら現地を歩く | 17 |
| ○情報集めの工夫 | 17 |
| ○現地を歩いて気付くこと | 17 |
| ケーススタディエリア～安曇野市三郷中萱地区～ | 18 |
| ケーススタディエリアの素材を探る | 19 |
| ケーススタディエリアで案内したい素材の種類表示 | 22 |
| ■ 第②ステップ 素材の特徴をもとに案内する素材を拾い出す | 23 |
| ○拾い出すべき素材とその整理 | 23 |
| ケーススタディエリアを特色付ける素材 | 24 |

■第③ステップ テーマ・物語を考える

| | |
|---|----|
| ○「見える風景・見えない風景」という考え方 | 25 |
| ケーススタディエリアでの物語の抽出実例 | 26 |
| ○現地の「見える風景」に沿った効果的な組み立て | 27 |
| ケーススタディエリアでの物語とコース設定の例 | 28 |
| ■ 第④ステップ 素材を構成する <地図にコースとポイントを落とし組み立てる> | 29 |
| ○取捨選択の重要性～コースの具体化と案内ポイントの選定～ | 29 |
| ○ガイドの基本事項に立ち返ってのチェック | 29 |
| ケーススタディエリアでの案内企画原案のチェック例 | 30 |
| ○場や条件に応じた様々な工夫の例 | 31 |
| コラム 人気まちあるき番組に学ぶ | 32 |

その4 案内を実践する

| | |
|---------------------------------|----|
| ■ 知っていると話すことができるの違い | 33 |
| ■ ゲストを知る | 34 |
| ■ 現場で大切な技術と注意点 | 35 |
| ○つかみと笑い | 35 |
| ○笑いは緊張の緩和 | 35 |
| ○ゲストの既得知識の活用 | 36 |
| ○わかりやすい言葉と姿勢でコミュニケーション | 37 |
| ○ゲストへの顔向け | 38 |
| ○固有名詞の扱いは要注意 | 39 |
| ○ビジュアルに訴える | 40 |
| ○ガイド中は取捨選択の連続、さらに臨機応変さも重要 | 41 |
| ○ガイド中の安全管理 | 42 |
| ■ インプット内容を「アウトプット」する技術の向上 | 43 |
| ■ 「はじめての案内」の苦労とその克服 | 45 |
| ■ スキルアップのための研究 | 47 |
| ○トーク術の研究 | 47 |
| ○地域住民との交流 | 47 |
| ○五感を使う | 48 |

資料編

| |
|-----------------------------|
| 資料1 まちなか集落における案内のケーススタディ |
| 資料2 山麓集落における案内のケーススタディ |
| 資料3 安曇野の案内のスキルアップにつながる参考資料等 |

暮らしの場を活かしたガイドで
ゲストに安曇野を楽しんでもらうエンターテイナー

「安曇野の案内人」 を目指して

－案内の企画から実践まで－



平成 30 年(2018)2月

NPO 法人 安曇野ふるさとづくり応援団

目 次

| | |
|-------------------------------|-------|
| 1. 平成 27 年度 さとやま楽校 案内人の教室 | |
| 1-1 さとやま楽校概要（平成 27 年度） | 1-1-1 |
| 1-2 案内人の教室（導入編）～山麓集落を事例として～ | 1-2-1 |
| 2. 平成 28 年度 さとやま楽校 案内人の教室 | |
| 2-1 さとやま楽校概要（平成 28 年度） | 2-1-1 |
| 2-2 案内人の教室（実践編）～まちなか集落を事例として～ | 2-2-1 |
| 3. 平成 29 年度 さとやま楽校 案内人の教室 | |
| 3-1 さとやま楽校概要（平成 29 年度） | 3-1-1 |
| 3-2 案内人の教室（企画編）～田園集落を事例として～ | 3-2-1 |